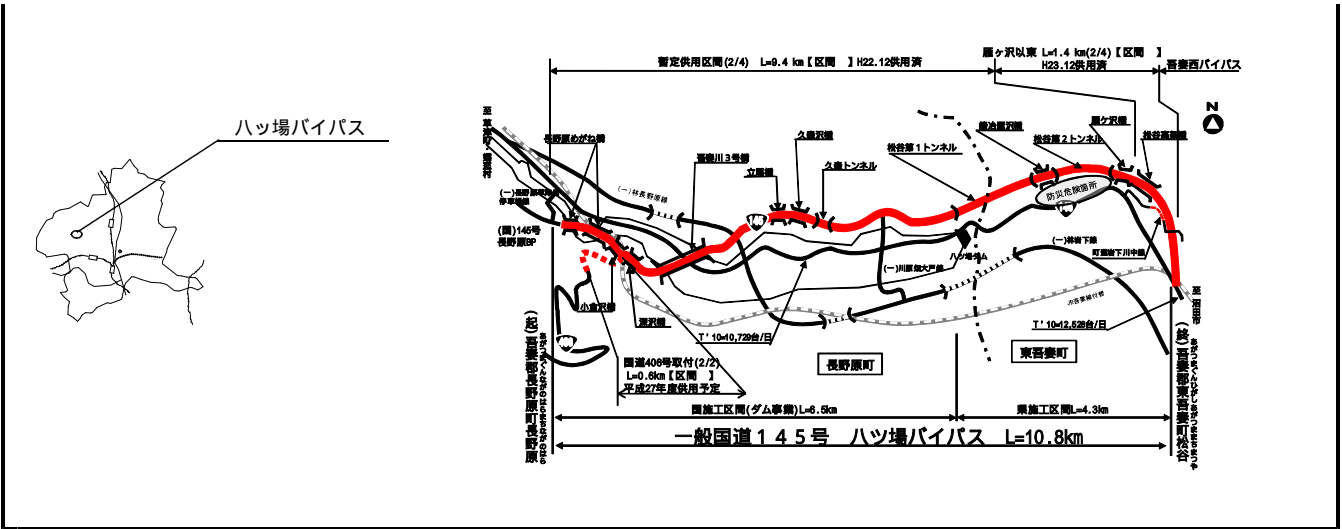


再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 上信自動車道 一般国道145号 ハッ場バイパス	事業 区分 一般国道	事業 主体 群馬県
起終点 自：群馬県吾妻郡長野原町長野原 至：群馬県吾妻郡東吾妻町松谷		延長 10.84km
事業概要 一般国道145号は、吾妻郡長野原町から沼田市に至る延長約49kmの完成道路であり、地域の産業、経済、物流を支える重要な路線である。ハッ場バイパスは、ハッ場ダム建設に伴う付け替え道路であるとともに、地域高規格道路の上信自動車道の一部を構成する延長10.8kmの4車線道路である。		
H6年度事業化	都市計画決定なし	H13年度用地着手
H8年度工事着手		
全体事業費 約319億円	事業進捗率 57%	供用済延長 10.84km
計画交通量 12,300 台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 121/363 億円 (事業費：107/349 億円) (維持管理費：14/14 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 400/400 億円 (走行時間短縮便益：381/381 億円) (走行経費減少便益：2/2 億円) (交通事故減少便益：17/17 億円)
基準年 平成25年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.0~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=3.0~3.7(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.1~1.1 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=3.1~3.7(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.0~1.2 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=3.2~3.5(事業期間±20%)		
事業の効果等 ・地域高規格道路「上信自動車道」の一部であり、吾妻地域の産業競争力の向上の寄与 ・地域防災力の強化や、第三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる ・草津温泉等の観光地へのアクセス向上が見込まれる		
関係する地方公共団体等の意見 ・渋川市をはじめとする3市4町2村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、当該路線の整備促進の要望を受けている。		
事業評価監視委員会の意見 ・群馬県公共事業再評価委員会(第36回平成26年2月10日)において審議の結果「事業継続」が答申された。 ・知事は、上記委員会の答申を踏まえ平成26年2月14日「事業継続」の対応方針を決定。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成23年3月19日に北関東自動車道が全線開通したことにより、群馬県内の高規格幹線道路網が完成。 ・これまでに、上信自動車道の一部区間である吾妻西バイパス(L=7.0km)、吾妻東バイパス(L=6.7km)がそれぞれ調査区間から整備区間に格上げされている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成6年度に事業化され、事業進捗率：57% 用地進捗率：99%となっている。 ・平成23年12月に暫定2車線で全線開通済み。平成27年度取付道路開通予定。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・ダム事業によるJR吾妻線の付け替えが遅れ、仮設踏切の設置や迂回措置により一般供用しているが、平成26年秋のJR吾妻線の付け替え後、速やかに完成形での整備を進める。		
施設の構造や工法の変更等 ・縦断計画の見直しに加え、橋梁の上下線を分離し一方の橋長を短縮したり、盛土工の材料を購入土から他現場の発生土に変更したりすることにより、コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。